



馬の学校

馬の学校通信

2007. 9 vol.27

発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6330-0406

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 参加者募集！！

ファミリープログラム (日帰り)

日程 : 10月28日 (日) / 11月3日 (土) 午前10時半~午後4時 *小雨決行
場所 : ホーストレッキングわち (京都府船井郡京丹波町出野小字カジロ)
対象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)
参加費 : 1家族 ¥15,000 / 1回 (現地集合・解散)
別途 食費 1人 ¥500

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 10月21日 (日) 午前10時~12時 *小雨決行
場所 : わらしべ乗馬センター (枚方市王仁公園内)
対象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴
参加費 : 1人 ¥8,000 (現地集合・解散)

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 10月27日 (土) / 11月18日 (日) 午前10~12時 *雨天決行
場所 : 服部緑地乗馬センター (豊中市服部緑地1-5)
対象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴
参加費 : 1人 ¥8,000 / 1回 (現地集合・解散)

*ふれあいプログラムはボランティアがマンツーマンでサポートします

★お申し込みは、会員の皆さまは9月15日(土)から、一般の方は17日(月)から、電話・FAX・E-mailで事務局まで！

*留守番電話になっている場合は、お名前・ご希望のプログラム名をお伝えください。折り返し、こちらからご連絡いたします。

夏のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (8/1~4)



仔馬がいました



馬上であぐら？！



朝6時からブラシがけ



馬小屋そうじは力仕事



みんなでがんばった草集め



蹄鉄を使った工作



フリーに挑戦



乗せてくれてありがとう



今夜はバーベキュー！



みんなで記念撮影

「ウマコンテスト」締め切り延長！

- ①作文 400字以上 2000字以下 (原稿用紙に手書きかワープロ)
- ②絵 B4以内の大きさの画用紙を使用・画材は自由
- ③写真 サービス判 (デジタル写真可)

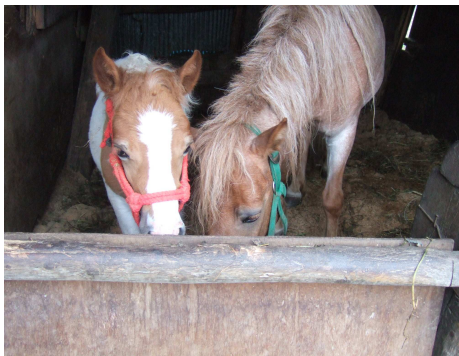
賞品 : 応募者全員に記念品を、優秀な作品に馬グッズをプレゼント

応募先 : 馬の学校事務局 (作品タイトル、住所・氏名・年齢・電話番号を明記)

締切り : 2007年11月30日 結果発表 : 12月中旬



馬の写真館



お馬の親子は仲よしこよし♪

おすすめの本

『はるふぶき』

童心社 加藤多一文 小林豊絵

ちょっとむかしの話……。マサルは丸太を売って小麦粉としょう油を買うために、アオという馬にそりを引かせて町へ行きました。帰りにはるふぶきにあったとき、マサルが聞いた不思議な声は……。困難にぶつかったときのマサルとアオの絆の深さにも、胸が熱くなります。



イギリス訪問報告2



(折り紙で馬を折りました)

フォーチュンセンター（以下FC）の馬事を通した高等教育コース（Further Education through Horsemanship Course）は16歳から25歳までを対象とし、各学年15名、全部で45名が在籍しています。生徒達の持つ障害は様々で、自閉症スペクトラム、ダウン症、摂食障害、LD、ADHD、脳性まひ（軽度）、知的障害などです。生徒達は、専門職アドバイザー（Specialist Careers Advisers）、ソーシャルワーカー、教師、医師およびその他の専門家からFCを紹介されます。入学の選考方法は、まず推薦を受けると、生徒は保護者と共にFCを訪問します。話し合いの後、もし適切だと見なされれば1日体験を行い、生徒とスタッフの両方がより多くの情報を得る機会を持ちます。その後7日間の宿泊体験を行い、その様子を元に話し合いが持たれ、入学の可否が決まります。また、このコースに通う生徒は、年齢や必要性に応じて、政府から金銭的な支援を受けることができます。

卒業後の進路に関しては、在学中に馬関係あるいはそれ以外でも職業体験が行われたり、馬関係の資格の取得が可能となっています。そして卒業後は、競馬や牧場関係の仕事に就く生徒もいれば、コーヒーショップやスーパーマーケットといった場で働く生徒もいます。またその他にも、競馬関係・フラワーアレンジメント・料理・コンピューターなどの専門学校に進学する場合があります。馬事を通した教育によって、馬関係の仕事だけでなく、他の仕事や進路に進む力が得られることは、FCの取り組みの大きな成果だと思います。

編集後記

例年にない猛暑だったこの夏、皆さまはどのように過ごされたでしょうか？馬の学校では、涼しい清里高原でのウマキャンプを無事に終えることができました。直射日光は強いものの、木陰に入ったときの風の心地よさは格別でした。ウマキャンプでは、多くの子どもたちがフリー（広い馬場で自由に乗ること）に挑戦しました。なかなか思い通りにいかない中で、うまくいかなかったことの原因を考えたり、さらなる挑戦をしたりと、この経験を通してずいぶんたくましくなったように思います。「失敗」というと、なるべくしない方がいいと思われがちですが、失敗を生かし、再挑戦できる環境があることが子どもたちにとって必要なのではないかと感じました。また昨年に引き続き、小須田牧場にて帝京科学大学・アニマルサイエンス学科の馬実習、さらにホーストレッキングわちにて梅花女子大学心理学科の乗馬体験（講義の一環）も行いました。1人でも多くの学生がこの領域に関心を持ち、発展に関わってくれることを願っています。（峯崎 友香理）